

様 式 C-26

「当初計画」に記載の項目及び予定と、「研究概要」の記載内容・時期が一致するように記載してください。

繰越（翌債）を必要とする理由

「研究概要」には、「当初計画」欄の記載内容に沿って、いつまでに何を行う予定であったかを簡潔に記載してください。

機関番号：10205

課題番号：22852162

研究機関名：虎ノ門大学

繰越（翌債）承認要求額：1,300,000 円（内訳：直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円）

研究課題名：〇〇理論に関する〇〇的研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
＜当初計画＞ ○ 事前準備 (H22. 4～H22. 6) ○ 〇〇論精査 (H22. 7～H22. 8) ○ 〇〇会議開催 (H22. 9) ○ 〇〇的理論精査 (H22. 10～H23. 1) ○ 成果とりまとめ (H22. 2～H22. 3) 完了時期と一致します。	＜変更後の計画＞ ○ 事前準備 (H22. 4～H22. 6) ○ 〇〇論精査 (H22. 7～H22. 8) ○ 〇〇会議開催 (H22. 9) ○ 〇〇的理論精査 (H23. 3～H23. 7) ※ 6 ヶ月の遅延 ○ 成果とりまとめ (H23. 8～H23. 9) 補助事業の完了時期 平成 23 年 9 月 30 日：6 ヶ月延長	（研究概要） ※2～3 行程度 平成 22 年 9 月に〇〇調査結果を検討する〇〇会議を開催し、会議での検討結果を踏まえ、〇〇を専門とする研究協力者に参画の内諾を得て、〇〇的理論を精査し、平成 23 年 3 月までに研究成果を取りまとめる予定であった。 「変更後の計画」には、当初計画からの内容・時期の変更点を追記してください。 事 由（注） 記号等 ① キ 計画に関する諸条件（研究協力者の確保難） （①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載） ※2～3 行程度 平成 22 年 8 月、研究協力者の都合により、急遽本研究に参画できなくなった旨の連絡があり、〇〇的理論の精査の着手に 6 ヶ月の遅延が生じた。
繰越事由の発生した時期 平成 22 年 8 月		

繰越事由の発生した時期を記載してください。

記号等が、「①エ 計画に関する諸条件（計画の変更）」、「⑦ア 研究に際しての事前調査」、「⑦イ 研究方法の決定の困難」及び「③ア～エ 気象の関係」に該当する場合は、本欄への記載は不要です。